

## 平成 1 4 年砂防関係重大ニュース

## ○ 長期計画

・「21世紀の土砂災害対策を考える懇談会」（座長 小橋京大名誉教授）から今後の砂防関係事業のあり方について答申

・「国土交通社会資本整備重点化計画」として治水事業（砂防・地すべり）・急傾斜地崩壊対策事業も含んで一本化決定

## ○ 本年も全国各地で土砂災害が発生（538件 12月24日現在）

・3～4月、全国で山林火災が多発

・7月9～16日にかけて、台風6、7号が上陸し（全国）

（7月に2つ以上の台風が上陸するのは観測史上3度目）

・11月、富山県氷見市で大規模地すべり災害発生

・H14.7.17三重県藤原町の土砂災害について、砂防施設の効果がNHKニュースで全国に放映

## ○ 砂防関係の新体制スタート

・1月、前森砂防部長から岡本砂防部長へのバトンタッチ

・砂防計画課に砂防情報係、保全課に企画専門官、が新設

## ○ 新規事業、新規施策の創設及び実施

・住民への火山監視情報の提供や防災知識の普及等を目的とした「火山防災ステーション設置」

・砂防指定地などの指定促進を図るため、土砂流出等を抑制する必要がある土地の全国調査の実施

・直轄による火山調査に着手

## ○ 国際協力・国際交流

・韓日土砂災害防止技術会議、3/27～30に韓国ソウルで第1回目開催

・第3回日伊土砂災害防止技術会議、4/8～12に広島、東京で開催

・インタープリメント2002、10/14～18に長野県松本市で開催

・ヴェネズエラに砂防の長期専門家を新たに派遣

## ○ 活発な広報活動の展開

・1月、雪崩防災シンポジウム、岩手県湯田町で開催

・3月、長崎県島原市において雲仙・普賢岳噴火災害を乗り越え、安中三角地帯復興記念式典開催

・6月、岐阜県岐阜市で「平成14年度土砂災害防止推進の集い（全国大会）」開催

・有珠山の火山噴火で著しい被害を被った北海道虻田町で、「2002火山砂防フォーラム」開催（11月）

次項へ続く

## ○砂防関係支援組織の拡大

・大分県砂防ボランティア協会、砂防千葉、長崎県砂防ボランティア協会、新潟県砂防ボランティア協会、富山県砂防ボランティア協会NPO法人化

・（財）砂防フロンティア整備推進機構に砂防フロンティア研究所設立

## ○火山地域でのハザードマップづくり

・6月、「富士山ハザードマップ作成協議会」から「富士山火山防災協議会」に名称を変更し、富士山ハザードマップの検討状況の中間報告が発表。

・岩手山、富士山、焼岳などで火山災害に対する防災訓練実施される。

## ○他省庁との連携強化

・土砂災害に関する情報伝達の迅速・確実化を図るため、砂防部と気象庁が連携、委員会を設置

・砂防部と文化庁が連携し、「歴史的砂防施設の保存活用調査委員会」発足

## ○技術開発

・12月、「無人化施工」、「砂防ソイルセメント」の全国で現地講習会開催

## ○事業関係

・兵庫県明石市大蔵海岸の事故を受け、水辺利用が日常的に見られる砂防施設の安全利用点検を全国で実施

・6月、単独では東洋一の高さ（50m）を誇る稲又第三砂防堰堤竣工（富士川砂防工事事務所）

・12月、調査開始から20数年を要した「松川流路工」（長野県白馬村）の竣工等、全国各地で地域を守る砂防、地すべり、急傾斜、雪崩の施設が竣工

## ○土砂災害防止法

・土砂災害防止法の基礎調査の着実な実施

## ○新砂防基本計画

・雲仙普賢岳の砂防計画をはじめとして、わかりやすい計画を目指して策定作業本格化

## ○その他

・国交省のレクリエーション（ソフトボール大会）で砂防部職員参加の河川局Aチーム優勝